

一 三前兵舎用窓硝子補給セラル
二 一部補給ス

ルヤ

(一五三八前)

三 三前兵舎構築用資材ハ將來
各中隊ニ運込及ボスコトハ到底望ミ得

ズ其時期ハ何時頃ナリヤ
不自力解決セラレ度

三 假建築物構築用竹筴等

三 供出ヲ防ゲヤル範圍ニ於テ極力兵

調部ハ許可セラルヤ
力ニ依リ取得セラレ度

四 自隊於テ借上ニ関スル工場
四 具體的ニ承リ度

設備等契約單價ヲ表示セラレ

度 (一五三八前)

五 極息陣地内排水用土管一五米
木材ニシテ排水溝ヲ作成セラレ度

分隊待機處ニ於テ

六 三前兵舎構築採用材ハ各地區ニ配
置セラルルモ當隊ノ如ク各地區ニ
在セタル部隊ハ取得困難ナル

テ既ニ釘用材一部ハ交付セルヲ以テ他
國頭地區ニヨリ自力ニ依リ取得セラレ度

ヲ以テ容易ニ取得出来得ル如ク
取計相成度 (一五三三)

七 三前兵舎(大隊本部用)資材
七 交付セリ

交付相成度 (一五三九)

八 三前兵舎用上敷補給セラル度
八 補給テ計画中ナリ

(一五四〇)

九 樹木伐採代支払上種類石敷
九 縣木材會社ト交渉セラレ度

評價算出基礎ヲ示セシレ度
(一五三四)

(村)

高菱経衣發券第二三號

給養兵額調書様式一部変更件通牒

昭和十九年十月五日

式部省五三部隊黒田隊

第五八九部隊御中

首題、件兩今左記ニ據リ提出相成度

左記

所在地	部隊名	給養兵額	給養馬数	給養馬名	備	西女

追而、此在地上欄ニ町村名ヲ記入シ書類提出ノ時ニ
號ヲ使用スルモノトス

19

球經度第四三號

經理部准士官十士官寄役停年名簿資料提出相成度ノ件通牒

昭和十九年十一月二十二日

球 第 一 六 一 十 部 隊 經 理 部 長 殿

首題ノ件左記様式ニ依リ十二月一日現在ニテ調製ノ上十二月十五日迄當部ニ到着スル如ク提出相成度

追而轉入任官進級昇給轉出召解現滿兵免等異動ノリタル場合ハ其節度至急通報セラレ度

記



Vertical Japanese text on the right page, including a date stamp '昭和十九年十二月二十二日' and a signature '經理部部長'.

別紙
発翰番群

給養兵額調書

昭和 年 月 日

部隊名

石第一八二部隊經理部御中

編成定人員数 給與兵額 編成定人員数 給與兵額 差	人員		軍馬	軍犬	軍馬摘要
	計	兵			
一八	一八	二七六	〇	〇	〇
一九	一九	二七六	〇	〇	〇
一	一	三三八	〇	〇	〇
五	五	三三八	〇	〇	〇
六	六	三三八	〇	〇	〇

備考

1. 編成定人員数ニ対スル實給養兵額ト差額ハ備考ニ於テ詳細説明スルモノトス
2. 兵額増減アリシ場合ハ隨時通報スルモノトス
3. 各四ハ担任給養兵額ヲ調査未日迄ニ提出スルモノトス

寫

石師經衣第三六五號

荷馬車積載量ニ関シテ件通牒

昭和十九年十一月十三日

石第一八二部隊經理部長

19.12.13

軍使用荷馬車積載量ニ関シテ近時供給契約ニ依リ荷馬車積載量甚シク僅少ニシテ四分ノ一ニ滿タサルモノアリ且行動緩慢ニシテ地方関係機関ノ批難ヲ受クルニ至リテ斯ノ運搬力不足ノ折柄戦力増強ニ甚ク遺憾ナルノミナラス軍威信ニモ関スレニ付將來カハルコトナキ様嚴ニ指導監督相成度

尚荷馬車借上料一日十三圓ノ基準ハ止ムヲ得サル場合措置エシテ積載量ニ依リ支拂フテ原則トスレモノニ付爲念申添フ

通牒先練下(指揮官處下)各部隊



昭和十九年十月八日
 球第一八〇九部部長殿

昭和十九年九月七日附球經計第一九號之願令察上レ同
 八月七日球經計第一八號前渡資金金整正理西女領三箇九件
 中森氏等一左記ノ如ク不又更セニ付通牒人
 追而本通牒ハ昭和十九年一月一日ノ安員施相成度

前渡資金請願要領一部変更件通牒
 球第一八〇九部部長
 經理部長

軍需品基準積載量一覽表

品目	基準積載量	品目	基準積載量	品目	基準積載量	品目	基準積載量
乾小豆	四〇〇	梅干	四六三	凍豆腐	三五〇	水磨粉	五五〇
粉味噌	三五〇	洋蔥	四九九	切葱	二八〇	清酒	四三三
煮干	二〇〇	塩鯖	四〇〇	虎葱	二五〇	煙草	一五〇
煎餅	二〇〇	味噌	二〇〇	小麥粉	七〇〇	シシト	四〇〇
長切	二〇〇	大豆	四〇〇	大豆	一五〇	干山菜	二〇〇
短切	二〇〇	大豆	四〇〇	大豆	一五〇	砂糖	九〇〇
切昆布	二〇〇	大豆	四〇〇	大豆	一五〇	大豆油	二〇〇
干味噌	二〇〇	大豆	四〇〇	大豆	一五〇	大豆油	二〇〇
精米	一五三六	干切大根	三五五	金平糖	五七六	大豆油	二〇〇

備考一 本表ハ馬車一台ニ對シ基準積載量ヲ例示スルモノトス
 二 建築材料等ハ概ネ六〇〇キヲ以テ馬車一台積載量トス
 三 急路急坂等ハ積載量ヲ減スレトシレハ此ノ際ハ車ニ於テ指示スルモノトス

休

防毒被服機能完備ニ關スル件通牒

昭和十九年十二月三日

石部一八二部隊經理部長

球第一八八・九部隊長殿

首題ノ件ニ關シ別紙寫ノ如ク通牒マリタルニ付最近ノ情勢ニ鑑ミ防毒被服ノ取扱機能ノ完備ニ遺憾ナキ様留意ヨリテ度

迄而防毒被服ノ機能検査ハ皇野灣高宮城被服固定修理所ニ於テ各部隊ノ修理割當日ニ實施シ検査ノ結果機能不良並ニ數損品ニシテ使用不能ノモノハ不良洞所ニ片布ヲ附シ一月十日迄ニ最寄野戰倉庫ニ返納シ防毒被服返納證書ヲ左記様式ニ據リ經理部ニ提出スルモノト承知相成度申添

左

記

防毒被服返納調査

部隊名

品目	区分	分量	返納数	機能不良個数		内訳	計	返納先
				吸気不良	濾過不良			
九六防毒面甲	個		三〇	二〇	一〇		三〇	西条野戦司令部


備考 一返納先ト部隊ト、受取ハ送證ニテ處理セラレ度
 二各隊面甲ハ各々ニ終リ区分揃上スルモノトス
 三隊下 指導下 区分下 各部隊長

防毒被服ノ機能検査ニ關スル通牒

昭和十九年十一月二十日 陸軍省管理局長

石第一八八一部隊經理部長

首題ノ件ニ關シテハ本年一月陸軍省密第一八八號ヲ以テ通牒セラ
 レアル處ナルモ最近ノ情勢ノ時ニ之ク完璧ニ要入ルモノアルヲ
 以テ其ノ取扱ニ留意シ機能ノ完備ニ遺憾ナキヲ期セラレ度
 茲而最近補給シアルル吸気罐ニシテ活性炭ノ微粒ノ漏出
 スルモノアルモ或程度ニテ漏出ヲ止マリ機能ニハ影響
 無キモノニ付取知セラレタレバ漏出ノ甚タシキモノニ就
 テハ直單被服廠ト連絡、上交換セラレ度申取フ

仔 

石師經衣四〇年

家畜飼育教、件照會

昭和十九年十二月十二日

一七第一二一部隊經理部

球第一八八九部隊中

首題、件九記樣式ニ依リ二十日迄ニ必着スル如ク提出相
成度尚自今毎月種球現、在高調書ニ家畜欄ヲ設ケ記載相成度

種	類	天南全支分 飼育教	種球費天南 飼育教	計	高	寄
乳牛	食肉牛					
山牛						
家畜						
馬						

成仔ニ分ス
 (1) 購來購入予定表
 (2) 本調書六十二年十五日現在
 介人

石第百八十八部隊

部落青年會ニ關係部隊將校以下出席ノ件通牒

昭和十九年十二月十三日

石第百八十八部隊

石第百八十八部隊經理部長

高知經理部長殿

軍用供出品ノ供出ヲ促進シ現地自治物産ノ開發ヲ取得スル
ル爲ニ部落青年會ノ意思ヲ疎通シ時局ノ要請ヲ深ク
認識セシムルニ爲メアリテ部落青年會開催時ニハ萬難ヲ排シ
關係將校又ハ下士兵等ヲ出席セシメ適切ナル指導ヲニ遺憾ナキヲ
期セラレ度ス

追而部落青年會開催ニ當リテハ各町村ヨリ關係部隊ニ通知スル旨
縣經濟部長ヨリ通知アリタルニ付關係町村ト事上ノ連絡ヲ保持セラ
レ度 尚前部又ハ出先野戰倉庫ヨリモ出來得ル限リ出席スル様
定ニシテ部落青年會席上軍全般ニ對シタル議題アリタル場合ハ其ノ
要旨ヲ部落青年會部ニ通報相煩度申添フ



七

石師經主第四七番

昭和十九年度年未賞與ニ関スル件達

昭和十九年十一月十三日 石第八八二部隊長

環第八八二部隊長殿

首題ノ件陸密第四九九三番ニ依リ支給スベシ



1835

黃	船	從	海	馬	部	大
---	---	---	---	---	---	---

56

1. 各念申添

計	部	駐	人	馬
	隊	屯	員	匹
	別	地		

左記

給養人員數通報相成度件通報
 昭和九年十二月十六日 五第八八部隊經理部
 五第八八部隊 休中
 首題ノ件一月以降ノ現地産生糧品配當計更上
 必要ニ付左記様式ニ依リ十五日現在ヲ以テ二十
 日迄ニ必着スル如ク通報相成度

支 具 用

No. 1	受領書	大木屋
物品取扱月日	預出受領月日	受領書
品名	数量	備考
全波電線	20	3
目技銅	20	2
柳魚	20	5
以不計	30	2

黄菱経衣巻第〇三三六號

空之容器返納ニ関スル件 通帳

昭和九年十月二十日 武第〇三三部隊里三同隊

球第八〇九部隊御中

從東國男野戰倉庫(各々打所)ヨリ酒保品用
 泡盛ヲ交付セシ際左記ノ如ク借用記ヲ以テ貸
 付セル右容器ノ上首ニ首返ニ返納セラレ度
 尚返納不能ナルトキハ拜償金ヲ同倉庫宛支
 拂ハレ度 通帳入

数
 大 一 〇 〇 〇 〇
 小 一 〇 〇 〇 〇
 價格 大 一 〇 〇 〇 〇
 小 一 〇 〇 〇 〇

要

此書は、上、の日本國領事館
 事務ノ下ニ記名捺印シテ直ニ郵送ス

石師經衣第四九五號

軍裝品所要致調查ノ件通牒

昭和十九年三月廿五日

石師八八二部隊經理部

本第一八八〇九部隊 中

首題ノ件軍ニ請求ノ必要アルニ付左記様式ニ依リ
調査ノ上本月末迄ニ必着スル如ク提出相成度
左記

品目	区令			計	摘	西女
	大	中	小			

備考ノ摘要摘要ノ海没焼失者新任者其他ニ区令
ニ各区令毎ニ小計ノコト

石師經主第四八號

昭和十九年度年末賞與支給額調書提出件通牒

昭和十九年十二月十三日

石師八二部隊經理部 長

石師八二部隊隊長 殿

石師經主第四七號達依り支給セラレタル年末賞與實費額別表

記載本月二十五日迄當部必着スル如ク提出相成度

石師八二部隊隊長 殿

球一八二酒第二號

酒保品補給請求ニ関スル件通牒

昭和十九年十二月九日

球一八二部隊

球一八二部隊

首題ノ件ニ関シテ第六第三十三軍野戰酒保規程ニ依リ當部隊
ニ對シ補給請求スル規程ニ依リ記品自下進送要求
中ニ付之補給ノ現品入府後通牒致可ニ付諒承相成度

手紙 夕オル 石炭 齒磨粉 齒磨揚子 落口紙 紙筆
私製葉書 便箋 封筒 棒 靴下 マチ子等



付

石師經度第一二四號

野戰倉庫補給開始ノ件通牒

昭和十九年十二月二十七日

石師八一部隊經理部

殊弁二八八元部隊長

首題ノ件左記區分ニ依リ補給開始トシテ付承知相成

進而首里平良西原當山(經理部)ニ電話開通トシテ付

申添

左記

區分	補給開始日	場所
首里野戰倉庫	十二月二十七日	首里市赤手町 師範學校寄宿舎跡
平良野戰倉庫		馬尻郡大里村字平良
前日野戰倉庫	當分間西原 當山ヲ併用ス	中頭郡浦添村字前田

石井



球第百一四五號

留學定渡連名簿送附方ニ関スル件通牒

昭和十九年十二月二十六日

球第六天部隊經理部長

球第六天部隊經理部長殿

首題ノ件南ニ西部軍經理部ニ於テ留學定渡實施者ト給與原簿照合上必要ニ付依頼アリタリ各隊ニ於テハ従来西部軍經理部ヲ留學定渡支給廳トセル留學定渡實施者ニ就キ別紙要領ニ依リ留學定渡連名簿ヲ調製シ昭和二十年一月二十五日迄ニ必ス到着スル如ク西部軍經理部宛送付相成度



別紙
何隊何々部留字定渡運名簿

調製年月日

編入 年月日	前所属部隊 番号	整理 向上 再修正	官等	氏名	受領 年月日	記入 年月日
			*			
			*			

備考

一本名簿昭和三十年一月一日現在以下各部隊別ニ調製スルモノト
 留字定渡人員(軍人(管外者同管内者)文官警官警察監獄職員
 嘱託員雇員傭人)順序ニ各別紙ニ概テ等級順ニ記載スル
 一各部隊ニ關シ記入スルモノトス
 三爾後ノ記入ヲ顧慮シ上部及下部欄外ニ未定ニ若干ノ余白

四裏紙一記載要領左、世
何々隊 固有各
剛。隊 通稱号 留守定渡連 名簿上 左下部 調製水廠
名可記之 七、トス

1966-07

和 種 一 種 ・ 二 種	種 類 一 種 ・ 二 種	種 類 一 種 ・ 二 種	種 類 一 種 ・ 二 種
著者名		発行年	
発行所		頁数	
使用		大書者	
所屬階級	氏名	年月日	年月日

請求
番号
昭和19年
底務
貸出中
著者及書名
昭19年度

沖 編
4-3
809部隊
月 日迄

